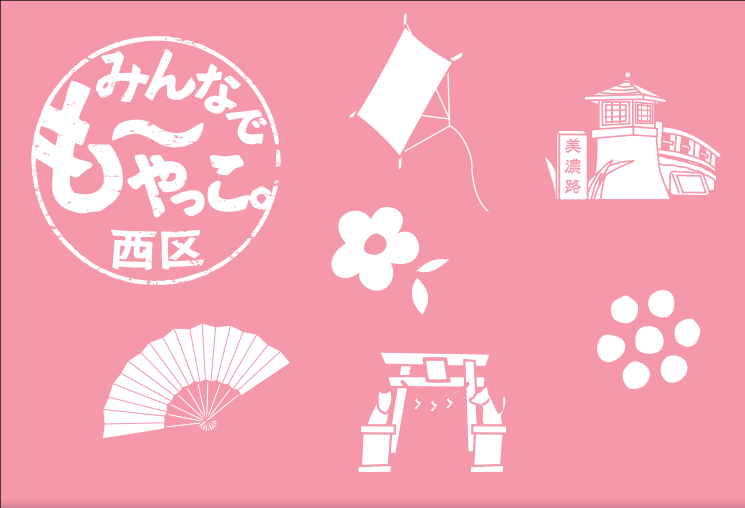




西区の魅力 まちあるき ガイドマップ

北へ東へ南へ西へ！
どこへ行っても歴史と伝統・文化に
いっぱい出会えるまち「西区」。
さあ、地図を片手にドンドン歩こう！

企画編集発行 西区役所

写真が語る 「西区今昔物語」

地図内の印がある場所に、昔の
写真と物語文が掲載された銘板
があります。昔なつかしい風景と
現在の風景を見比べて、身近な
歴史を感じてみませんか？

第一巻 MAP C-3

弁天通商店街(昭和29年)
提供:樹林舎「名古屋今昔写真集 第1巻」より
(撮影=神田三三)

第二巻 MAP C-3

浄心交差点(昭和47年)
提供:徳田 耕一

第三巻 MAP A-1

中沼町周辺(昭和40年)
提供:長谷川 保夫

第四巻 MAP A-3

白菊町(昭和13年)
提供:株式会社郷土出版社「秘蔵写真館
名古屋いまかレゾナンス」(1)
北区・西区編より

第五巻 MAP C-4

鷹匠橋(昭和35年)
提供:KTC中央出版
「変貌～名古屋の昭和を撮る
寺西二郎写真集～」

第六巻 MAP C-4

五条橋(昭和11年)
提供:名古屋都市センター
平成28年2月現在の情報です。

第七巻 MAP B-2

名鉄中小田井駅(昭和54年)
提供:山田 和夫
※このガイドマップは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

西区ガイドマップ

オススメ は、区民のみなさんが推薦する「西区の魅力スポット」です。

善光寺別院 願王寺 B-2

天長6年(829)に開基され、明治年間、
信州善光寺より本尊善光寺如来を勧
請し、昭和4年善光寺本堂が建立。以
来「善光寺別院願王寺」と称され、地域
では善光寺さんの名で親しまれていま
す。所蔵の「刺繍涅槃画像」は名古屋
市指定文化財。

星神社 B-2

仁和年間(885～888)、この地の付近に住
んでいた大江山人の子孫により社が建立さ
れ、弘安3年(1280)の戦火によって社殿の
全てを焼失。その後、藤原朝臣実秋によって
復興されたとされます。

七夕祭 8月7日

通常7月7日の七夕祭も、
ここでは旧暦の7月7日に
近い8月7日に開催。全
高3mの大提灯がぶら下
がり、夜は笹飾りや多数
の提灯が並び、幻想的な
祭雰囲気が広がります。

赤とんぼ橋 B-2

平成19年12月に開通した名古屋
高速6号清須線の庄内川に架かる
橋。第23回名古屋都市景観賞
(まちなみ部門)を受賞。

新福寺 B-2

聖武天皇の天平年間に行基が創
建したという大寺。寺の北裏に幹
3.5m高さ17mの椎の太木があり、
かつて寺にあった池には大蛇伝説
が伝えられます。

庚申塚 B-2

稲生が原古戦場址。織田信長は柴田勝家、
林美作らと現在の名塚、稲生町一帯で闘
い、勝利。尾張統一に踏み出しました。この
庚申塚にはこの合戦の戦死者の霊が祀られ
ています。

庄内緑地 B-2

庄内川の小田井遊水地を利用した市内
有数の公園で、「水と緑と太陽」をテーマ
に野趣あふれる総合公園。約3.5haという広大な芝生
広場を中心に、サイクリングコースやボート池、各種ス
ポーツ施設などを完備。特に、70種・約2,500株が揃
うバラ園や花ショウブ園(95種・約18,000株)など見
どころも満載。「ドッグラン」も併設しています。

矢田 績 B-3 (西図書館)

西図書館は矢田が東区に設立
した「名古屋公園図書館」が始まり
です。矢田は、戦前の名古屋界
界の重鎮で、一般の市民が本に触
れて文化に親しむことが大切だ
という信念から、私財を投じて公
園図書館をつくりました。図書館はそ
の後名古屋市内に寄贈され、場所も
現在地に移転。今でも西図書館の
2階に銅像が立ちます。

旧志水家玄関車寄せ・風信亭 B-3

尾張藩家老・志水甲斐守屋敷の玄関車寄せを、明治初年に名
古屋城三の丸から移築したもの。向唐破風で豪末(そばく)通り
という見事な様式。庭内にある風信亭(非公開)は、江戸中期から
名古屋城二の丸庭園にあったと伝わる小亭で、明治2年(1869)
庭園の廃止に伴い移築。いずれも名古屋指定文化財。

浄心寺 C-3

文化8年(1811)に旧寺の地に建立され、
一般的には浄心観音堂と親しまれます。

児玉白山社 B-3

祭神は伊弉冉尊(いざなのみこと)
で、大正7年(1918)には5社神を
合祀し、十柱社となりました。

観音寺 B-3

慶長18年(1613)建立。
本尊の聖観音像は二代藩
主光友が寄贈したもの。元
禄期には広大な境内で操
り芝居も演ぜられました。

トヨタ産業技術記念館 B-4

トヨタグループ発祥の地。豊田佐吉が明治44年、
自動機械の研究開発のために創設した試験工場
の場所と建物を利用して建設された記念館。トヨタ
グループが携わってきた繊維機械と自動車を中心に、
産業と技術の変遷を、本物の機械の動態展示
や実演で分かりやすく紹介。

子守地藏尊 C-4

四間道の路地を1本西に入った細い路地の
奥にあるのが、子守地藏尊です。この付近で
井戸を掘っていたときに、お地藏さんが出てき
たので、現在の場所に建てられたそうです。

朝日遺跡 A-1

朝日遺跡(あさひいせき)は、縄文
末期から弥生時代を中心に栄え
た集落遺跡で、愛知県清須市・名
古屋市西区にまたがる、東海地方
最大級の環濠集落遺跡です。こ
の他、西区には西志賀遺跡、月
手遺跡があります。

二福神車山車・湯取神子車山車巡行

二福神車山車・湯取神子車山車巡行

六所神社 C-1

天文年間(1532～1554)以前の
創建とされる神社。天王祭(7月)
と例大祭(10月)が行われ、南北山
車保存会による神楽囃子が奉納
されます。

六所神社大祭・二福神車山車・湯取神子車山車巡業 10月2日曜日(隔年)

おまつり情報

蛇池 C-1

昔から「池に大蛇が住む」と噂されたことから、蛇池(じゃいけ)と名付けられました。

蛇池の桜並木 C-1

平成12年9月12日の東海豪雨の後の整備
で、多くの桜の木が伐採されましたが、残された
桜の木はキレイな花を咲かせています。

蛇池の龍神

信長が池の水を掻き出しでも捕えられな
かった大蛇がいたとのこと。堀
詰町の石炭問屋惣右衛門の妻が、
子どもたちにいじめられている小蛇を
助けたため、その女の死後、龍神が
乳房の代わりをしたとの話は有名。

庄内用水

庄内川から水を引いた、名古屋の代表的
な用水で、別名「惣兵衛(そうべい)
川」。尾張一國が統一された信長・秀吉
の時代(元龜・天正年間)に作られた用
水であるとされ、現在も名古屋最大の
農業用水として暮らしを支えています。

庄内緑地公園

庄内川の小田井遊水地を利用した市内
有数の公園で、「水と緑と太陽」をテーマ
に野趣あふれる総合公園。約3.5haという広大な芝生
広場を中心に、サイクリングコースやボート池、各種ス
ポーツ施設などを完備。特に、70種・約2,500株が揃
うバラ園や花ショウブ園(95種・約18,000株)など見
どころも満載。「ドッグラン」も併設しています。

新川・洗堰 C-1

名古屋市内とその周辺を流れる庄内川水系の新川
(しんかわ)は、江戸時代に開削された人工河川。そ
れまで庄内川に流れ込んでいた複数の川の水を名
古屋西部からそらし、増水時には洗堰(新川洗堰)
を通じて水を迂回する目的で作られました。また洗堰
(あらいぜき)は、庄内川右岸堤防の一部を切り落と
して造った堰で、庄内川出水の際に新川へ流す役
割を果たしました。天明4年麓工、天明7年(1787)
に完成し、流域の災害を防いできました。

大乃伎神社 ボダイジユ C-2 (名古屋指定文化財天然記念物)

一千有余年前から、この大野木の地に鎮座してきた
神社で、天和2年(1682)5代将軍綱吉に仕えた春日
井郡の城主、堤宗悦により修復されたもの。神木の
ボダイジユは昭和53年12月、名古屋指定文化財
(天然記念物)に指定。江戸時代には、付近の大野
木堤から濃尾平野や三河山地まで一帯をさきました。

安性寺 C-2

本尊は十一面観世音菩薩で、
享保13年(1728)秋葉山安性寺
と改称。火災を守る寺として
徳川家康も篤く信仰し、藩主も
鷹狩りの際によく立ち寄りまし
た。本堂の天井絵が圧巻。

稲荷大祭 3月1日曜日

おまつり情報

伊奴神社 C-2

第40代天武天皇の御代(673)創建。この地で採れた稲を皇室に献上した際に建立されたと
いわれ、1300年以上の歴史を持つ古社。主祭神「素戔嗚尊(すさのおのみこと)」は伊弉諾神(いざなぎのかみ)と伊弉冉神(いざなみのかみ)の子で天照大御神の弟で
出雲地方を治め、産業発展、商売繁盛、病氣平癒等の靈驗あらたな神様。祭神の伊奴姫神は
大年神(農業の守護神)の妃で、子授け、安産、夫婦円満、家内安全などのご利益があり、大は安産する(お産が軽い)ことから、犬の石像が奉納されています。

河童伝説

「河合小伝治」という老人が幅下の西に住んでいて、宝暦6年7月3日の早朝、生い匂いがしたかと思うと、彼の肩に手をかける者がいたので、振り向き河童であったという記述が寛政10年(1798)出版の随筆本・山岡
康安著「百二十石」に載っています。

東区ガイドマップ

オススメ は、区民のみなさんが推薦する「東区の魅力スポット」です。

光通寺 C-1

ここには信長の家臣、佐々成政の居城・比良城
がありました。成政は天正元年(1573)、朝
倉攻めや、天正3年(1575)の長篠の役など
の功績が認められ、越前5分市・小丸の城主
となり、この比良城は居城となりました。その
後、富山城主となるものの、信長の死後、秀
吉に対抗し攻められ降伏。肥後へ流されます。

六所神社 C-1

天文年間(1532～1554)以前の
創建とされる神社。天王祭(7月)
と例大祭(10月)が行われ、南北山
車保存会による神楽囃子が奉納
されます。

六所神社大祭・二福神車山車・湯取神子車山車巡業 10月2日曜日(隔年)

おまつり情報

蛇池 C-1

昔から「池に大蛇が住む」と噂されたことから、蛇池(じゃいけ)と名付けられました。

蛇池の桜並木 C-1

平成12年9月12日の東海豪雨の後の整備
で、多くの桜の木が伐採されましたが、残された
桜の木はキレイな花を咲かせています。

蛇池の龍神

信長が池の水を掻き出しでも捕えられな
かった大蛇がいたとのこと。堀
詰町の石炭問屋惣右衛門の妻が、
子どもたちにいじめられている小蛇を
助けたため、その女の死後、龍神が
乳房の代わりをしたとの話は有名。

庄内用水

庄内川から水を引いた、名古屋の代表的
な用水で、別名「惣兵衛(そうべい)
川」。尾張一國が統一された信長・秀吉
の時代(元龜・天正年間)に作られた用
水であるとされ、現在も名古屋最大の
農業用水として暮らしを支えています。

庄内緑地公園

庄内川の小田井遊水地を利用した市内
有数の公園で、「水と緑と太陽」をテーマ
に野趣あふれる総合公園。約3.5haという広大な芝生
広場を中心に、サイクリングコースやボート池、各種ス
ポーツ施設などを完備。特に、70種・約2,500株が揃
うバラ園や花ショウブ園(95種・約18,000株)など見
どころも満載。「ドッグラン」も併設しています。

新川・洗堰 C-1

名古屋市内とその周辺を流れる庄内川水系の新川
(しんかわ)は、江戸時代に開削された人工河川。そ
れまで庄内川に流れ込んでいた複数の川の水を名
古屋西部からそらし、増水時には洗堰(新川洗堰)
を通じて水を迂回する目的で作られました。また洗堰
(あらいぜき)は、庄内川右岸堤防の一部を切り落と
して造った堰で、庄内川出水の際に新川へ流す役
割を果たしました。天明4年麓工、天明7年(1787)
に完成し、流域の災害を防いできました。

大乃伎神社 ボダイジユ C-2 (名古屋指定文化財天然記念物)

一千有余年前から、この大野木の地に鎮座してきた
神社で、天和2年(1682)5代将軍綱吉に仕えた春日
井郡の城主、堤宗悦により修復されたもの。神木の
ボダイジユは昭和53年12月、名古屋指定文化財
(天然記念物)に指定。江戸時代には、付近の大野
木堤から濃尾平野や三河山地まで一帯をさきました。

安性寺 C-2

本尊は十一面観世音菩薩で、
享保13年(1728)秋葉山安性寺
と改称。火災を守る寺として
徳川家康も篤く信仰し、藩主も
鷹狩りの際によく立ち寄りまし
た。本堂の天井絵が圧巻。

稲荷大祭 3月1日曜日

おまつり情報

伊奴神社 C-2

第40代天武天皇の御代(673)創建。この地で採れた稲を皇室に献上した際に建立されたと
いわれ、1300年以上の歴史を持つ古社。主祭神「素戔嗚尊(すさのおのみこと)」は伊弉諾神(いざなぎのかみ)と伊弉冉神(いざなみのかみ)の子で天照大御神の弟で
出雲地方を治め、産業発展、商売繁盛、病氣平癒等の靈驗あらたな神様。祭神の伊奴姫神は
大年神(農業の守護神)の妃で、子授け、安産、夫婦円満、家内安全などのご利益があり、大は安産する(お産が軽い)ことから、犬の石像が奉納されています。

河童伝説

「河合小伝治」という老人が幅下の西に住んでいて、宝暦6年7月3日の早朝、生い匂いがしたかと思うと、彼の肩に手をかける者がいたので、振り向き河童であったという記述が寛政10年(1798)出版の随筆本・山岡
康安著「百二十石」に載っています。

1

2

3

4